

平成27年6月30日
水産庁

水産物の市況について(平成27年6月及び7月)

—東京都中央卸売市場における平成27年6月(平成27年5月21日～平成27年6月20日集計)の市況と、
平成27年7月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成27年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月並みとなり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は横ばいに推移しました。

II 平成27年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

東京への入荷量は引き続き多く、前月並みと見込まれるものの、卸売価格はサイズが良いことからやや強含みに推移すると見込まれます。
(主漁場は鹿島灘～犬吠埼沿岸及び隠岐周辺)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は前月と比べやや減少すると見込まれるものの、季節的に身質が良くないことから卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は、漁が本格化することから、前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は能登沖～北海道西岸)

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は前月並みと見込まれるものの、卸売価格は消費者の需要が一巡したことからやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
27年	42	934	41	937	42	949
前年	45	890	44	893	47	898

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	411	130	104	110
さけ・ます(平均)	774	108	88	116
(ぎんざけ塩蔵品)	783	100	89	111
(あきさけ塩蔵品)	678	100	128	133
(ときさけ塩蔵品)	1,001	100	108	124
(べにざけ塩蔵品)	997	100	98	110
(さけ類冷凍品)	752	112	86	120
さば(生鮮品)	310	86	97	96
するめいか(平均)	492	94	110	119
(生鮮品)	490	89	114	116
(冷凍品)	496	100	103	126
あじ(生鮮品)	533	84	107	94
まぐろ(冷凍品)	1,388	98	99	105
(めばち冷凍品)	986	98	99	102
(きはだ冷凍品)	884	99	92	96
(くろまぐろ冷凍品)	3,953	100	140	124
(みなみまぐろ冷凍品)	2,091	95	94	93
かつお(生鮮品)	623	105	115	83

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:6月の価格は1～20日までの速報値を元に算出。平年とは平成22年～26年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 大橋、原、安井

直通 03-3591-5612